

(每週) 金曜日發行休日ニ當ルトキハ順次繰下グ

茨城縣報

號

外

昭和六年九月四日

(金曜日)

縣令

茨城縣令第四十八號

大正十年三月茨城縣令第十一號穀物検査規則中左ノ通改正ス

昭和六年九月四日

茨城縣知事 田 中 無事生

第一條中「精米、」ノ下ニ「粳、」ヲ加フ

第二條第四號ヲ「縣内ニ於テ包裝、調製若ハ加工ヲ他人ニ委託スルモノ」ニ、同條第六號ヲ「縣内ニ於テ授受スル穀物ニシテ

検査免除ノ届出アリルモノ又ハ知事ニ於テ必要ト認め検査免除ヲナシタルモノ」ニ改ム

第三條一項中「六等及等外ニ」ノ下ニ「粳ニ在リテハ」一等ヨリ

三等及等外ニ」ヲ加フ

第五條第一項第一號及第二號ヲ左ノ如ク改ム

一一包裝ノ容量又ハ重量

玄米四斗(約七二、一六立)

精米四斗(約七二、一六立)又ハ正味拾六貫(六〇疋)

粳正味拾參貫(約四八、七五疋)

大麥正味拾五貫(約五六、二五疋)

小麥正味拾六貫(六〇疋)
稗麥正味拾六貫(六〇疋)

精麥四斗(約七二、一六立)

大豆正味拾五貫(約五六、二五疋)
小豆正味拾五貫(約五六、二五疋)

茶種正味拾六貫(六〇疋)

二包 裝

玄米及精米ハ二重依裝穀、大麥、小麥、稗麥、精麥、大豆及

小豆ハ一重依裝トシ茶種ニハ叭ヲ用ヒ其ノ包裝方法ハ左

記ニ依ルコト但シ精米、粳、精麥、大豆及小豆ニハ叭ヲ用

キルコトヲ得

(一) 二重依裝

内外俵トモ乾燥セル選葉ヲ用キ四ヶ所編トシ内俵ノ編

上三尺七寸(約一、二二米)編目ノ間隔中央七寸(約二一

糎)左右六寸五分(約一九、七糎)兩縁各五寸(約一五糎)

外俵ノ編上四尺(約一、二二米)編目ノ間隔各七寸(約二

一糎)兩縁五寸五分(約一六、七糎)重量ハ内俵五百匁

(約一、八七五疋)乃至六百匁(約二、二五疋)外俵四百匁

(約一、五疋)乃至五百匁(約一、八七五疋)トスルコト
棧依ハ乾燥セル選葉ヲ用キ徑九寸(約二七、二七糎)乃

茨城縣報 號

外

昭和六年九月四日

(明治卅五年三月十七日第三種郵便物認可)

一

至一尺(約三〇、三纏)ニ製シ重量ハ七拾匁(約二六二瓦)乃至九拾匁(約三三七瓦)トスルコト
 内俵ノ小口ハ目通八ヶ所掛トシ棧俵ヲ當テテ腕粒ヲ防ギ、外俵ノ小口ハ目通九ヶ所掛茶膳トシ緻密ニ緊括ス
 コルト

繩ハ打柔ゲタル藁ヲ用キ小口繩及横繩ハ周リ八分(約二、四纏)乃至一寸(約三纏)縦繩ハ周リ一寸(約三纏)乃至一寸三分(約三、九纏)トシ外俵ニ用ユル繩ハ總テ摺掛トスルコト

横繩ハ内俵三ヶ所、外俵五ヶ所各二廻リ結トシ外俵ニハ縦繩ヲ施シ縦繩ハ一筋ヲ以テ四方掛トシ兩端ノ横繩ニハ蚌股ニ其ノ他ノ横繩ニハ各下ヨリ引掛ケ緊括シ其ノ結目ニ卷封ヲ施シ得ベキ部分ヲ設クルコト

(二) 一重俵裝

俵ハ乾燥セル選葉ヲ用キ四ヶ所編トシ編上四尺(約一、二二米)編目ノ間隔各七寸(約二一纏)兩縁五寸五分(約一六、七纏)重量ハ七百匁(約二、六二斤)乃至八百匁(約三斤)トスルコト

棧俵ハ乾燥セル選葉ヲ用キ徑一尺一寸(約三三、三三纏)乃至一尺二寸(約三六、六六纏)ニ製シ重量ハ八拾匁(約三〇〇瓦)乃至九拾匁(約三三七瓦)トスルコト

小口ハ目通八ヶ所掛トシ棧俵ヲ當テテ腕粒ヲ防ギ緊括スルコト

繩ハ打柔ゲタル藁ヲ用キ摺掛トシ小口繩及横繩ハ周リ八分(約二、四纏)乃至一寸(約三纏)縦繩ハ周リ一寸(約三纏)乃至一寸三分(約三、九纏)トスルコト

横繩ハ五ヶ所各二纏ニ結キ縦繩ハ三筋ヲ以テ四方掛トシ兩端ノ横繩ニハ蚌股ニ其ノ他ノ横繩ニハ下ヨリ引掛ケ緊括シ其ノ結目ニ卷封ヲ施シ得ベキ部分ヲ設クルコト

(三) 吠

吠庭ハ其ノ質良好ナル藁ヲ用キ縦繩三十六本以上ニテ打葉一本ツツ密ニ織上ガ重量ハ四百五十匁(約一、六八七斤)以上トスルコト

繩ハ周リ八分(約二、四纏)乃至一寸(約三纏)ノモノヲ用キ横繩ハ二廻リ三ヶ所掛トシ兩耳繩ノ端ハ中央ニ於テ結合シ縦繩ハ二筋ヲ以テ二ヶ所掛トシ各横繩ニ引掛ケ緊括シ其ノ結目ニ卷封ヲ施シ得ベキ部分ヲ設クルコト

第十條 第一項票箋ノ様式ヲ左ノ如ク改ム

長サ四寸(約一一、一二纏)

縣郡(市)町(村)大字

受檢者

昭和 年 產 玄米

正味量四斗(七二、一六立)

皆掛重量 貫 匁

昭和 年 月 日 檢査

幅 約 二 寸 (約六〇六纏)

備考

一記號事項中「玄米」ハ穀物ノ種類ニ依リ「精米」、「粃」、「大麥」、「小麥」、「糯麥」、「精麥」、「大豆」、「小豆」、「菜種」又ハ「半搗米」ニ「四斗(七二、一六立)」、「八拾參

貫(四八、七五疋)ニ拾五貫(五六、二五疋)又ハ拾

六貫(六〇疋)ニ改ムルコト但シ穀ニ在リテハ「穀何

々」ト其ノ品種名ヲ記入スルモノトス

二皆掛重量ノ記載ハ疋ニ依ルコトヲ得

第十條ノ二 本則ノ適用ニ因リ生ジタル損害ニ付テハ縣ハ賠

償ノ責ニ任ゼズ

本則ニ依ル検査施行ノ爲特ニ要スル費用ハ検査申請者ノ負

擔トス

第十二條ノ二 第二條第六號ノ検査免除ノ届出ハ現品所在地

及種類別數量竝其ノ事由ヲ具シ農産物検査吏員ニ之ヲ爲ス

卷 封 紙

(雛 形)

一 等

茨城縣穀物検査



長サ 一三、七糎

幅二・八糎

二 等

茨城縣穀物検査



長サ 一三、七糎

幅二・八糎

三 等

茨城縣穀物検査



幅二・八糎

ヲ爲シタルモノニ對シテハ其ノ一包裝毎ニ左ノ記號ヲ押捺

ス

別

縦九、一糎 肉色 青

第十三條検査證印(雛形)中「六分」ヲ「一、八二糎」ニ、「四分」ヲ

「一、二一糎」ニ改メ検査等級證印(雛形)中「但シ」ノ下ニ「穀

ニ使用スルモノ及」ヲ加ヘ「三寸」ヲ「九、一糎」ニ、「一寸五分

」ヲ「四、六糎」ニ、「三寸五分」ヲ「一〇、六糎」ニ改メ検査記號

(雛形)中「二寸八分」ヲ「八、五糎」ニ、「二寸五分」ヲ「七、六糎

」ニ改メ卷封紙ノ(雛形)ヲ左ノ如ク改ム

長サ 一三、七糎

四等

茨城縣穀物検査



長サ 一三、七糎

幅二・八糎

五等

茨城縣穀物検査

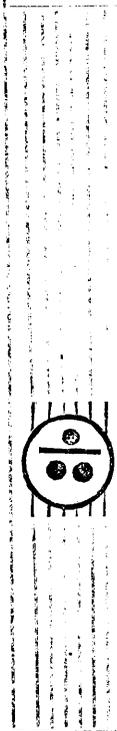


長サ 一三、七糎

幅二・八糎

六等

茨城縣穀物検査



長サ 一三、七糎

幅二・八糎

等外

茨城縣穀物検査



長サ 一三、七糎

幅二・八糎

備考

赤稻糠玄米、水稲糠糠、大麥及大豆ニ用フルモノハ白
 地ニ赤色線但シ等外ハ赤色無地
 水稲糠玄米、水稲糠糠、小麥及小豆ニ用フルモノハ白
 地ニ青色線但シ等外ハ青色無地
 陸稻糠玄米、陸稻糠糠、稗麥及菜種ニ用フルモノハ白
 地ニ紫色線但シ等外ハ紫色無地
 陸稻糠玄米、陸稻糠糠、精米及精麥ニ用フルモノハ白

地ニ茶色線但シ等外ハ茶色無地
 第十四條消印(形)中「三寸」ヲ「九、一糎」ニ改ム
 第十五條第二項ヲ削ル
 第十九條第二項記號中「二寸」ヲ「六、一糎」ニ改ム
 第二十條第一項中「包裝面ニ商標其ノ他荷印等ヲ附セ」ヲ「包
 裝ニ商標、荷印等ヲ附シ又ハ其ノ他ノ表示ヲ爲サ」ニ改ム
 第二十一條第一項中「一尺」ヲ下ニ「(約三〇、三糎)ヲ」ニ付ス

ノ下ニ(約六、一糶)ヲ加フ
第二十四條本文申「扣留又ハ科料」ヲ「五拾圓以下ノ罰金又ハ
拘留若ハ科料」ニ改ム

第二十四條ノ二 本則ニ規定シタル罰則ハ違反行爲ノ未遂者
及其ノ行爲ヲ教唆シ又ハ幫助シタル者ニ之ヲ適用ス

附則

本令ハ昭和六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
卷封紙ハ當分ノ内從前ノ規定ニ依ルモノヲ以テ代用シ水稻粃
米用ノモノハ水稻粃粃ニ、水稻糯米用ノモノハ水稻糯米粃ニ、陸
稻粃米用ノモノハ陸稻粃粃ニ、陸稻糯米用ノモノハ陸稻糯米粃
ニ之ヲ代用スルコトヲ得

茨城縣令第四十九號

大正七年十月茨城縣令第三十七號穀物検査手續料徴收規則中
左ノ通改正シ昭和六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和六年九月四日

茨城縣知事 田 中 無 事 生

第一條第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
三 糶ハ一包裝ニ付金四錢

訓 令

茨城縣訓令甲第二十六號

市 町 村 役 場 所

本縣重要物産タル農産物ノ検査ハ明治四十四年ヨリ米穀ニ、
大正三年ヨリ麥ニ、大正十五年ヨリ大豆、小豆及菜種等ノ雜穀
ニ對シ之ヲ實施シタリ其ノ間幾度カ制度ノ改廢ヲ行ヒ就中大

正十年度ニ於テ生産、移出ノ二段検査ヲ廢止シテ單式検査ニ
之ヲ改正シ以テ當業者ノ便益増進ヲ企圖シテ今日ニ至レリ爾
來專ラ之ガ改善ヲ促セシ結果穀物ノ品位向上ニ干渉、調製、包
裝等面目ヲ一新シ近來漸ク市場ノ聲價ヲ發揚スルニ至リタル
モ時勢ノ推移ニ伴ヒ且ツ既往ノ實績ニ徴シ新ニ糶ヲ検査項目
ニ加フルト共ニ穀物検査規則ノ一部ヲ改正發布スルニ至リタ

抑モ本縣水戸市、東茨城、那珂、久慈、多賀ノ一市四郡ニ於ケル
米生産高ハ縣下總收量ノ約四分ノ一ヲ占メ多クハ糶取引ニシ
テ其ノ生産狀熊ヲ見ルニ耕種肥培ノ方法ハ漸次改良ノ域ニ進
ミタリト雖收穫後ニ於ケル處置トシテ最モ必要ナル乾燥、調
製、包裝等ノ改善ハ往々閑却セラレタルノ憾ナキニアラズ從
ツテ品質ニ於テハ他地方生産品ニ比シ敢テ遜色ナキモ收穫後
ノ措置其ノ宜シキヲ得ザル爲メ玄米トシテ貯藏久シキニ堪ヘズ
容量、重量ノ不同及包裝ノ不良ナル爲メ取引上ノ不便ヲ來シタ
ル等諸種ノ缺点ハ遂ニ商品トシテノ價值ヲ損シ需要地ノ不信
用ヲ招キ聲價ヲ失墜スルニ至リタルハ當ニ生産者ノ不利益タ
ルノミナラズ縣經濟ニ影響スルコト至大ナリト謂フベシ故ニ
之ガ改良ニ關シテハ從來指導獎勵ヲ怠ラザリシ所ナルモ因襲
ノ久シキ徒ラニ舊套ヲ墨守スル傾キアリテ容易ニ效果ヲ擧グ
ルコトヲ得ズ故ニ既住ニ於ケル穀物検査ノ實績ニ鑑ミ糶ノ檢
査ヲ實施シ以テ改良ヲ圖ラムトスル所以ナリ

今回穀物検査規則ヲ改正シ糶ニ對シ検査ヲ實施スル趣旨ハ主
トシテ從來ノ不利缺陷ヲ補填シ商品價值ヲ向上シ縣民ノ福利
ヲ増進セムコトヲ期スルニ外ナラザルナリ素ヨリ之ガ實績ヲ
見ルハ期年ノ後ニアリト雖從來姑息ニ慣レタル當業者或ハ檢
査ノ趣旨ヲ誤解シ意外ノ障礙ヲ發生スルコトナキヲ保セズ故

